

MSYS-4009901-08	ヘルメット シールド撥水剤		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2010年11月30日	改定日	2024年10月28日
				第8版

## 1 化学品及び会社情報

化学品の名称	ヘルメット シールド撥水剤
製品コード	90793-40099-01
供給者の会社名称	株式会社アスカ
住所	兵庫県明石市朝霧南町三丁目8番8号
担当部門	品質保証本部
電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
FAX番号	078-974-5303
緊急連絡の電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
推奨用途及び使用上の制限	ヘルメットシールド、スクリーン、ミラー等の撥水コーティング
整理番号	MSYS-4009901-08

## 2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	引火性液体	区分2
物理化学的危険性	皮膚腐食性／刺激性	区分2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経、全身、神経、腎臓)
		区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(脾臓、血管、中枢神経系、腎臓)
	誤えん有害性	区分1
	その他の項目は、「区分に該当しない」もしくは「分類できない」に該当	

## GHSラベル要素

## 絵表示又はシンボル

- ・ 炎
- ・ 感嘆符
- ・ 健康有害性



## 注意喚起語

**危険**

## 危険有害性情報

- H225 引火性の高い液体及び蒸気
- H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- H315 皮膚刺激
- H319 強い眼刺激
- H336 眠気又はめまいのおそれ
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- H370 臓器(中枢神経、全身、神経、腎臓)の障害
- H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(脾臓、血管、中枢神経系、腎臓)の障害のおそれ

## 注意書き

## 【安全対策】

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P235 涼しいところに置くこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
- P264 取り扱い後は、汚染箇所をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

MSYS-4009901-08	ヘルメット シールド撥水剤		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2010年11月30日	改定日	2024年10月28日 第8版

## 【応急措置】

- P303+P361+P353 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。  
P305+P351+P338 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せ場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。  
P314 気分が悪いときは医師に診察／手当を受けること。  
P332+P337+P313 皮膚刺激が生じた場合、目の刺激が続く場合：医師の診察／手当を受けること。  
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
P370+P378 火災の場合：消火するために炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、耐アルコール泡を使用すること。

## 【保管】

- P403+P233+P235 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
P405 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- P501 内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名／化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	化審法番号	安衛法 通知対象物質	PRTR法 管理番号	毒劇物
イソプロピルアルコール	65～75	67-63-0	C3H8O	(2)-207	494	非該当	非該当
石油系溶剤	25～30	非公開	非公開	既存	非該当	非該当	非該当
トルエン	<5	108-88-3	C7H8	(3)-2	407	第1種 347	劇物
イソブチルアルコール	<1	78-83-1	C4H10O	(2)-3049	477	非該当	非該当
シリコーン	<2	非公開	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当

化審法番号：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

安衛法：労安法施行令別表第3第1号及び別表第9の指定物質並びに労安規則別表第2の指定物質、裾切値以上含む混合物

PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の管理番号

毒劇物：毒物及び劇物取締法の別表一（毒物）、別表二（劇物）、別表三（特定毒物）毒物及び劇物指定令

## 4 応急措置

## 吸入した場合

蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

## 皮膚に付着した場合

大量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。

外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。

## 目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。

コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。

できるだけ速く医師の診断を受けること。

## 飲み込んだ場合

揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険が増す。

直ちに、医療措置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗わせてもよい。

但し、意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

吐かせずに、医師の診断を受ける。

MSYS-4009901-08	ヘルメット シールド撥水剤		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2010年11月30日	改定日	2024年10月28日 第8版

## 5 火災時の措置

### 消火剤

炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

### 使ってはならない消火剤

棒状の水を消火に用いてはならない

### 特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

### 消火を行う者の保護

適切な保護具(有機ガス用防毒マスク、手袋等)を着用する。

## 6 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

屋内で漏洩した場合は十分に換気を行うこと。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

### 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

### 除去方法

漏出物を密閉できる空容器に可能な限り回収する。

回収後の少量の残留分は、土砂(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

## 7 取り扱い及び保管上の注意

### 取り扱い

#### 技術的対策

温度40℃以上の所では取扱わないこと。

火気のある所では取扱わないこと。

温度40℃以上に暖めないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

### 注意事項

#### 安全取り扱い注意事項

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

### 適切な保管条件

温度40℃以上になる所に保管しないこと。

水分や湿気が多い所に保管すると容器を腐食させて爆発の恐れがあるので注意すること。

通気の良い場所に保管すること。

子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

MSYS-4009901-08	ヘルメット シールド撥水剤			株式会社アスカ		
SDS(安全データシート)	作成日	2010年11月30日	改定日	2024年10月28日	第8版	

## 8 ばく露防止及び保護措置

## 設備対策

局所排気装置、全体換気の使用する。

## 許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm	200ppm
石油系溶剤	-	-	-
トルエン	20ppm	50ppm	20ppm
イソブチルアルコール	50ppm	50ppm	50ppm
シリコーン	-	-	-

## 保護具

保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等の適切な保護具を着用する

## 9 物理的及び化学的性質

## 物理的状态

(代表成分の数値を記載)

外観・形状	液体
色	無色透明
臭い	特徴的な臭気
沸点範囲	データなし
引火点	12°C (イソプロピルアルコール)
発火点	データなし
爆発限界	データなし
密度及び/又は相対密度	0.781 (20°C)
溶解性	水に不溶

## 10 安定性及び反応性

## 安定性

通常の条件では安定

## 反応性

強酸化剤と接触すると激しく反応する。

## 11 有害性情報

成分名	LD50M	LD50S	皮	眼	呼	変	発	生	単			反		吸		環境	
									1	2	3	1	2	短	長		
イソプロピルアルコール	3437	4059	-	2	-	-	-	2	1	-	3	-	2	-	-	-	-
石油系溶剤	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
トルエン	2600	12000	2	2B	-	-	-	1A	1	-	3	1	-	1	2	-	-
イソブチルアルコール	2596	2523	2	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-
シリコーン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 略記号:

LD50M: 経口 (主としてラット) mg/kg LD50S: 経皮 (主としてラット) mg/kg

皮: 皮膚腐食性・刺激性 眼: 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼: 呼吸器感作性または皮膚感作性

感: 皮膚感作性 変: 生殖細胞変異原性 発: 発がん性 生: 生殖毒性

単: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 反: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

吸: 誤えん有害性

短: 水生環境有害性、短期(急性) 長: 水生環境有害性、長期(慢性)

MSYS-4009901-08	ヘルメット シールド撥水剤		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2010年11月30日	改定日	2024年10月28日
				第8版

## 12 環境影響情報

11.有害性情報にあわせて記載している。

## 13 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

## 汚染容器・包装

内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。

## 14 輸送上の注意

## 国際規制

国連分類	クラス3(引火性液体)
国連番号	1993(引火性液体)
指針番号	128

## 国内規制

## 陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

## 容器表示

第四類	第一石油類	危険等級 II	火気厳禁
容量	20 mL		

## 積載方法

運搬時の積み重ね高さは3m以下

## 混載禁止

第一類又は第六類の危険物(危険物の数量が指定数量の10分の1以下の場合には適用外)

## 海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

## 航空輸送

航空法に定めるところに従う。

## 15 適用法令

## 高圧ガス保安法

適用除外

## 消防法

法第2条第7項危険物別表第1

第四類第一石油類

## 毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物指定令

該当せず

## 労働安全衛生法

(通知・表示対象物質)

3.組成、成分情報に記載

施行令別表第1危険物

引火性のもの

施行令別表第3特定化学物質

該当せず

施行令別表第6の2有機溶剤

第二種有機溶剤

## 化学物質排出把握管理促進法

施行令別表第1第1種指定化学物質

トルエン

施行令別表第2第2種指定化学物質

該当せず

## 16 その他の情報 (引用文献)

## 引用文献

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル,作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

産業中毒便覧

(医歯薬出版株式会社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)

GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

原材料SDS

MSYS-4009901-08	ヘルメット シールド撥水剤		株式会社アスカ		
SDS(安全データシート)	作成日	2010年11月30日	改定日	2024年10月28日	第8版

※この安全データシートは日本国内向けに作成していますので、無断での翻訳・海外向けへの交付はご遠慮くださいますようお願いいたします。

製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制について事前にご確認ください。

※この情報は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考として、取扱う事業者提供されるものです。

※記載内容は現時点で入手できる資料および情報に基づき作成しております。新しい知見および試験情報等により改正されることがあります。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従いまして、この安全データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

MSYS-4009902-06	ヘルメット シールドくもり止め		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日
				第6版

## 1 化学品及び会社情報

化学品の名称	ヘルメット シールドくもり止め
製品コード	90793-40099-02
供給者の会社名称	株式会社アスカ
住所	兵庫県明石市朝霧南町三丁目8番8号
担当部門	品質保証本部
電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
FAX番号	078-974-5303
緊急連絡の電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
推奨用途及び使用上の制限	ヘルメットシールド、ガラス等のくもり止めコーティング
整理番号	MSYS-4009902-06

## 2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肝臓、中枢神経系、視覚器)
環境に対する有害性	水生環境有害性、短期(急性)	区分1
	その他の項目は、「区分に該当しない」もしくは「分類できない」に該当	

## GHSラベル要素

## 絵表示又はシンボル

- ・ 炎
- ・ 健康有害性
- ・ 感嘆符
- ・ 環境



## 注意喚起語

**危険**

## 危険有害性情報

- H225 引火性の高い液体及び蒸気
- H302 飲み込むと有害
- H315 皮膚刺激
- H319 強い眼刺激
- H351 発がんのおそれの疑い
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- H335 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 眠気又はめまいのおそれ
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓、中枢神経系、視覚器)の障害
- H400 水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

## 【安全対策】

- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P235 涼しいところに置くこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
- P264 取り扱い後は、汚染箇所をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

MSYS-4009902-06	ヘルメット シールドくもり止め		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日
				第6版

#### 【応急措置】

- P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。  
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。  
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
P337+P313 眼刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。  
P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。  
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受けること。  
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。  
P370+P378 火災の場合: 消火するために炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、耐アルコール泡、噴霧水を使用すること。  
P391 漏出物を回収すること。

#### 【保管】

- P403+P235 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
P405 施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

- P501 内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名/化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	化審法番号	安衛法 通知対象物質	PRTR法 管理番号	毒劇物
エタノール	50~70	64-17-5	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	(2)-202	61	非該当	非該当
プロピルアルコール	<10	71-23-8	C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> OH	(2)-207	494	非該当	非該当
メタノール	<5	67-56-1	CH <sub>3</sub> OH	(2)-201	560	非該当	該当※
直鎖型アルキルベンゼン スルホン酸ナトリウム	<1	25155-30-0	C <sub>12</sub> H <sub>25</sub> C <sub>6</sub> H <sub>4</sub> SO <sub>3</sub> Na	(3)-1884	非該当	第1種 45	非該当

化審法番号: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法: 労安法施行令別表第3第1号及び別表第9の指定物質並びに労安規則別表第2の指定物質、裾切値以上含む混合物

PRTR法: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の管理番号

毒劇物: 毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)毒物及び劇物指定令

### 4 応急措置

#### 吸入した場合

蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気の場合に移動させ、安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

大量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。  
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。

#### 目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。  
コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。  
できるだけ速く医師の診断を受けること。

#### 飲み込んだ場合

揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険が増す。  
直ちに、医療措置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗わせてもよい。  
但し、意識のない場合は、口から何も与えてはならない。



MSYS-4009902-06	ヘルメット シールドくもり止め		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日 第6版

## 5 火災時の措置

### 消火剤

水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

### 特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

### 消火を行う者の保護

適切な保護具(有機ガス用防毒マスク、手袋等)を着用する。

## 6 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

屋内で漏洩した場合は十分に換気を行うこと。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

### 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

### 除去方法

漏出物を密閉できる空容器に可能な限り回収する。

回収後の少量の残留分は、土砂(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

## 7 取り扱い及び保管上の注意

### 取り扱い

#### 技術的対策

温度40℃以上の所では取扱わないこと。

火気のある所では取扱わないこと。

温度40℃以上に暖めないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

### 注意事項

#### 安全取り扱い注意事項

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

### 適切な保管条件

温度40℃以上になる所に保管しないこと。

水分や湿気の多い所に保管すると容器を腐食させて爆発の恐れがあるので注意すること。

通気の良い場所に保管すること。

子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

MSYS-4009902-06	ヘルメット シールドくもり止め			株式会社アスカ		
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日	第6版	

## 8 ばく露防止及び保護措置

## 設備対策

局所排気装置、全体換気の使用する。

## 許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
エタノール	-	-	1000ppm
プロピルアルコール	200ppm	400ppm	200ppm
メタノール	200ppm	200ppm	200ppm
直鎖型アルキルベンゼン スルホン酸ナトリウム	-	-	-

## 保護具

保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等の適切な保護具を着用する

## 9 物理的及び化学的性質

## 物理的状态

外観・形状	液体	(代表成分の数値を記載)
色	無色透明	
臭い	アルコール臭	
沸点範囲	78°C	(エタノール)
引火点	14°C	(エタノール)
発火点	363°C	(エタノール)
爆発限界	3.3-19.0 vol%	(エタノール)
密度及び/又は相対密度	0.8-0.9	
溶解性	水に溶解	

## 10 安定性及び反応性

## 安定性

通常の条件では安定

## 反応性

強酸化剤と接触すると激しく反応する。

## 11 有害性情報

エタノール	6200	-	-	2B	-	-	1B	1A	-	-	3	1	2	-	-	-
プロピルアルコール	2200	4060	-	1	-	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-
メタノール	1400	-	-	2A	-	-	-	2	1	-	3	1	-	-	-	-
直鎖型アルキルベンゼン スルホン酸ナトリウム	-	-	2	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-

## 略記号:

LD50M: 経口 (主としてラット) mg/kg LD50S: 経皮 (主としてラット) mg/kg

皮: 皮膚腐食性・刺激性 眼: 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼: 呼吸器感作性または皮膚感作性

変: 生殖細胞変異原性 発: 発がん性 生: 生殖毒性

単: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 反: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

吸: 誤えん有害性

短: 水生環境有害性、短期(急性) 長: 水生環境有害性、長期(慢性)

MSYS-4009902-06	ヘルメット シールドくもり止め		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日
				第6版

## 12 環境影響情報

11.有害性情報にあわせて記載している。

## 13 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

## 汚染容器・包装

内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。

## 14 輸送上の注意

## 国際規制

国連分類	クラス3(引火性液体)
国連番号	1987(アルコール類)
指針番号	127

## 国内規制

## 陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

## 容器表示

第四類	アルコール類	危険等級 II	火気厳禁
容量	20 mL		

## 積載方法

運搬時の積み重ね高さは3m以下

## 混載禁止

第一類又は第六類の危険物。

## 海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

## 航空輸送

航空法に定めるところに従う。

## 15 適用法令

## 高圧ガス保安法

適用除外

## 消防法

法第2条第7項危険物別表第1

第四類アルコール類

## 毒物及び劇物取締法

法第2条別表第1、別表第2、別表第3

該当せず

## 労働安全衛生法

(表示・通知対象物質)

3.組成、成分情報に記載

施行令別表第1危険物

引火性のもの

施行令別表第3特定化学物質

該当せず

施行令別表第6の2有機溶剤

該当せず

## 化学物質排出把握管理促進法

施行令別表第1第1種指定化学物質

該当せず(規定値未満の為)

施行令別表第2第2種指定化学物質

該当せず

## 16 その他の情報 (引用文献)

## 引用文献

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル,作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

産業中毒便覧

(医歯薬出版株式会社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)

GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

原材料SDS

MSYS-4009902-06	ヘルメット シールドくもり止め		株式会社アスカ		
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日	第6版

※この安全データシートは日本国内向けに作成していますので、無断での翻訳・海外向けへの交付はご遠慮くださいますようお願いいたします。

製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制について事前にご確認ください。

※この情報は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考として、取扱う事業者提供されるものです。

※記載内容は現時点で入手できる資料および情報に基づき作成しております。新しい知見および試験情報等により改正されることがあります。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従いまして、この安全データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

MSYS-4009903-06	ヘルメット シールドクリーナー		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日
				第6版

## 1 化学品及び会社情報

化学品の名称	ヘルメット シールドクリーナー
製品コード	90793-40099-03
供給者の会社名称	株式会社アスカ
住所	兵庫県明石市朝霧南町三丁目8番8号
担当部門	品質保証本部
電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
FAX番号	078-974-5303
緊急連絡の電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
推奨用途及び使用上の制限	ヘルメットシールド、ガラス等のクリーナー
整理番号	MSYS-4009903-06

## 2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肝臓、中枢神経系、視覚器)
環境に対する有害性	水生環境有害性、短期(急性)	区分1
	その他の項目は、「区分に該当しない」もしくは「分類できない」に該当	

## GHSラベル要素

## 絵表示又はシンボル

- ・ 炎
- ・ 健康有害性
- ・ 感嘆符
- ・ 環境



## 注意喚起語

**危険**

## 危険有害性情報

- H225 引火性の高い液体及び蒸気
- H302 飲み込むと有害
- H315 皮膚刺激
- H319 強い眼刺激
- H351 発がんのおそれの疑い
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- H335 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 眠気又はめまいのおそれ
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓、中枢神経系、視覚器)の障害
- H400 水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

## 【安全対策】

- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P235 涼しいところに置くこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
- P264 取り扱い後は、汚染箇所をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

MSYS-4009903-06	ヘルメット シールドクリーナー		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日
				第6版

#### 【応急措置】

- P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。  
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。  
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
P337+P313 眼刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。  
P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。  
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受けること。  
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。  
P370+P378 火災の場合: 消火するために炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、耐アルコール泡、噴霧水を使用すること。  
P391 漏出物を回収すること。

#### 【保管】

- P403+P235 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
P405 施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

- P501 内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名/化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	化審法番号	安衛法 通知対象物質	PRTR法 管理番号	毒劇物
エタノール	50~70	64-17-5	C2H5OH	(2)-202	61	非該当	非該当
プロピルアルコール	<10	71-23-8	C3H7OH	(2)-207	494	非該当	非該当
メタノール	<5	67-56-1	CH3OH	(2)-201	560	非該当	該当※
直鎖型アルキルベンゼン スルホン酸ナトリウム	<1	25155-30-0	C12H25C6H4 SO3Na	(3)-1884	非該当	1種45	非該当

化審法番号: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法: 労安法施行令別表第3第1号及び別表第9の指定物質並びに労安規則別表第2の指定物質、裾切値以上含む混合物

PRTR法: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の管理番号

毒劇物: 毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)毒物及び劇物指定令

### 4 応急措置

#### 吸入した場合

蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

大量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。  
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。

#### 目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。  
コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。  
できるだけ速く医師の診断を受けること。

#### 飲み込んだ場合

揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険が増す。  
直ちに、医療措置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗わせてもよい。  
但し、意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

MSYS-4009903-06	ヘルメット シールドクリーナー		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日 第6版

## 5 火災時の措置

### 消火剤

炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

### 使ってはならない消火剤

棒状の水を消火に用いてはならない

### 特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

### 消火を行う者の保護

適切な保護具(有機ガス用防毒マスク、手袋等)を着用する。

## 6 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

屋内で漏洩した場合は十分に換気を行うこと。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

### 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

### 除去方法

漏出物を密閉できる空容器に可能な限り回収する。

回収後の少量の残留分は、土砂(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

## 7 取り扱い及び保管上の注意

### 取り扱い

#### 技術的対策

温度40℃以上の所では取扱わないこと。

火気のある所では取扱わないこと。

温度40℃以上に暖めないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

### 注意事項

#### 安全取り扱い注意事項

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

### 適切な保管条件

温度40℃以上になる所に保管しないこと。

水分や湿気の多い所に保管すると容器を腐食させて爆発の恐れがあるので注意すること。

通気の良い場所に保管すること。

子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

MSYS-4009903-06	ヘルメット シールドクリーナー			株式会社アスカ		
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日	第6版	

## 8 ばく露防止及び保護措置

## 設備対策

局所排気装置、全体換気の使用。

## 許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
エタノール	-	-	1000ppm
プロピルアルコール	200ppm	400ppm	200ppm
メタノール	200ppm	200ppm	200ppm
直鎖型アルキルベンゼン スルホン酸ナトリウム	-	-	-

## 保護具

保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等の適切な保護具を着用する

## 9 物理的及び化学的性質

## 物理的状態

外観・形状	液体	(代表成分の数値を記載)
色	無色透明	
臭い	アルコール臭	
沸点範囲	78°C	(エタノール)
引火点	14°C	(エタノール)
発火点	363°C	(エタノール)
爆発限界	3.3-19.0 vol%	(エタノール)
密度及び/又は相対密度	0.8-0.9	
溶解性	水に溶解	

## 10 安定性及び反応性

## 安定性

通常の条件では安定

## 反応性

強酸化剤と接触すると激しく反応する。

## 11 有害性情報

	LD50M	LD50S	皮	眼	呼	変	発	生	単			反		吸		環境	
									1	2	3	1	2	1	2	短	長
エタノール	6200	-	-	2B	-	-	1B	1A	-	-	3	1	2	-	-	-	-
プロピルアルコール	2200	4060	-	1	-	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-
メタノール	1400	-	-	2A	-	-	-	2	1	-	3	1	-	-	-	-	-
直鎖型アルキルベンゼン スルホン酸ナトリウム	-	-	2	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-

## 略記号:

LD50M: 経口 (主としてラット) mg/kg LD50S: 経皮 (主としてラット) mg/kg

皮: 皮膚腐食性・刺激性 眼: 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼: 呼吸器感作性または皮膚感作性

変: 生殖細胞変異原性 発: 発がん性 生: 生殖毒性

単: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 反: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

吸: 誤えん有害性

短: 水生環境有害性、短期(急性) 長: 水生環境有害性、長期(慢性)



MSYS-4009903-06	ヘルメット シールドクリーナー		株式会社アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日
				第6版

## 12 環境影響情報

11.有害性情報にあわせて記載している。

## 13 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

## 汚染容器・包装

内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。

個人で使用の際は、中身を使い切ってから火気のない屋外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから地域の法令に従って処理して下さい。

## 14 輸送上の注意

## 国際規制

国連分類	クラス3(引火性液体)
国連番号	1987(アルコール類)
指針番号	127

## 国内規制

## 陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

## 容器表示

第四類	アルコール類	危険等級 II	火気厳禁
容量	20 mL		

## 積載方法

運搬時の積み重ね高さは3m以下

## 混載禁止

第一類又は第六類の危険物。

## 海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

## 航空輸送

航空法に定めるところに従う。

## 15 適用法令

## 高圧ガス保安法

## 適用除外

## 消防法

法第2条第7項危険物別表第1

第四類アルコール類

## 毒物及び劇物取締法

法第2条別表第1、別表第2、別表第3

該当せず

## 労働安全衛生法

(表示・通知対象物質)

3.組成、成分情報に記載

施行令別表第1危険物

引火性のもの

施行令別表第3特定化学物質

該当せず

施行令別表第6の2有機溶剤

該当せず

## 化学物質排出把握管理促進法

施行令別表第1第1種指定化学物質

該当せず(規定値未満の為)

施行令別表第2第2種指定化学物質

該当せず

## 16 その他の情報 (引用文献)

## 引用文献

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル,作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

産業中毒便覧

(医歯薬出版株式会社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)

GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

原材料SDS

MSYS-4009903-06	ヘルメット シールドクリーナー		株式会社アスカ		
SDS(安全データシート)	作成日	2015年6月15日	改定日	2024年10月28日	第6版

※この安全データシートは日本国内向けに作成していますので、無断での翻訳・海外向けへの交付はご遠慮くださいますようお願いいたします。

製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制について事前にご確認ください。

※この情報は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考として、取扱う事業者提供されるものです。

※記載内容は現時点で入手できる資料および情報に基づき作成しております。新しい知見および試験情報等により改正されることがあります。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従いまして、この安全データシートそのものは、安全の保証書ではありません。